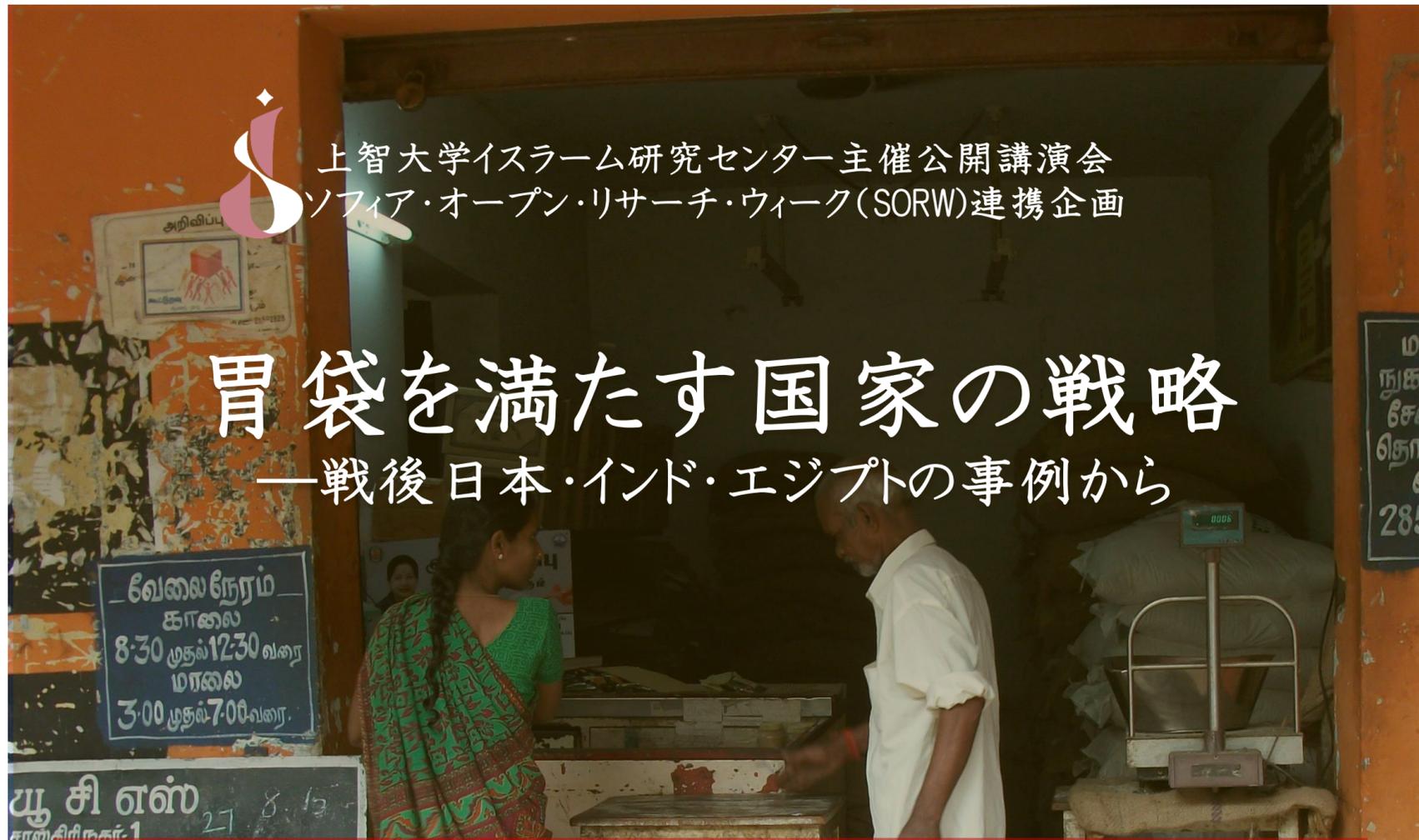




上智大学イスラーム研究センター主催公開講演会
ソフィア・オープン・リサーチ・ウィーク(SORW)連携企画

胃袋を満たす国家の戦略

—戦後日本・インド・エジプトの事例から



2021年11月20日(土) 13:00-15:00 オンライン(Zoom)

【プログラム】

司会 堀井聡江 桜美林大学教授
趣旨説明 岩崎えり奈 上智大学教授
報告:

『占領期日本におけるララ物資の展開』

郷戸夏子 国際基督教大学アジア文化研究所 研究助手

『危機とレジリエンス——エジプトの食糧配給と国家・軍部の役割』

井堂有子 日本国際問題研究所 研究員

『インドの公共配給制度の展開——農民、政府、貧困大衆』

近藤則夫 日本貿易振興機構アジア経済研究所地域センター 主任研究員

コメンテーター 長沢栄治 東京大学名誉教授

質疑応答

- 予約:登録フォームにて要事前予約 (<https://forms.gle/oiWFuo5GJdUCsmuA9>)
- 主催:イスラーム研究センター(問い合わせ ias-iac@sophia.ac.jp)
- 共催:科研費基盤研究B「ムスリム社会におけるマサラハ(福利)の実践—弱者の権利をめぐる比較研究」(代表:堀井聡江)



☞こちらからでも
ご登録できます



Sophia Open Research
Weeks 2021 5th Nov.— 23rd Nov. Sophia University





上智大学イスラーム研究センター主催公開講演会
ソフィア・オープン・リサーチ・ウィーク(SORW)連携企画



胃袋を満たす国家の戦略

—戦後日本・インド・エジプトの事例から

コロナ禍と気候変動の現代、改めて問い直される食糧問題。地域と時代を超え、国家はいかにして人々の胃袋を満たしてきたのか？ 戦後日本、インド、エジプトの事例から、危機の時代の食糧供給システムの構築と変遷等について考察を行う。

【各報告の要旨】



報告①

『占領期日本におけるララ物資の展開』(郷戸)

アメリカの民間団体によって戦後日本で展開された救援活動の一つにアジア救援公認団体(通称ララ)による救援物資があげられる。本報告では、ララによるこの救援活動がいかに展開され、人々に受容されたのかを検討する。



報告②

『危機とレジリエンス——エジプトの食糧配給と国家・軍部の役割』(井堂)

世界最大の小麦輸入国エジプト。70年以上におよぶ食糧補助金制度は様々な課題を生み出しながら存続してきた。本報告では、2008年前後の世界食糧危機を基軸に、国家と軍部がどのような役割を果たしたのかを考察する。



報告③

『インドの公共配給制度の展開——農民、政府、貧困大衆』(近藤)

南アジアは歴史的に旱魃、戦災などで飢饉がたびたび発生した。本報告では独立後インドがいかにして食糧増産、配給制度拡充をおこなってきたか、そして、現在、食糧配給体制はいかなる問題をはらんでいるか報告する。



Sophia Open Research
Weeks 2021 5th Nov.— 23rd Nov. Sophia University

